

目標シートを活用する！

熊本県 デイサービス花*花 施設長 木下昭太郎 様

熊本学習療法研究会副会長の木下施設長より、仙台シンポの発表～現在の状況「目標シートを活かす」（目標シートのぶれない考え方で、職員の成長と業務改善）を紹介致します。

学習日報

学習者氏名 ○○さん		
学習目標 スタッフと会話ができる。		
11/28 (水)	スタッフ名 宇野木 美沙	学習の様子 ◎ ○ △ 休 (理由)
	ストーリーor心に残った一言 「子供が小さい時は動物園にいました。」印象に残った会話。自分史作成	
開始時刻 2:00 ～ 2:30	特記事項、目標は？ はっきりした声で話し、お子さんの小さい頃の思い出を話す。	
	コミュニケーション 問いかけに、笑顔で応える。	
/ ()	スタッフ名	学習の様子 ◎ ○ △ 休 (理由)
	ストーリーor心に残った一言	

【デイサービス花*花様の学習日報シート】

実践テキストが改訂され、自施設でも学習日報（目標シート）を見直し改めた。すべてのスタッフが目的（良い結果）を共有し、学習療法、日常のケアに生かすよう仕組みを変えた。

目標を意識することにより、スタッフの日報への書き込みが量、質共に良好になった。学習療法実施時のコミュニケーションが変わった。日報への書き込みや、学習目標を意識することで、「私が何か聞き出すぞ！」「学習療法の担当する日が待ち遠しい。」「こんな工夫をすることでたくさん話していただけた。」スタッフ一人ひとりが目的に（良い結果）にたどり着く為に創意工夫を始めたのです。その結果、学習者発語が増え、三者コミュニケーションが豊かになった。私は、作業を共有すること（基本を守る）だけではなく、目的を共有する事（一人ひとりが主体性をもって行動する、工夫をする）が新たなよい結果を生み出していると実感しました。

さらに、私たちは日報に日々書かれた内容をまとめ、学習者の自分史をつくるようにした。それを学習者やその家族にお渡しするようになった。自分史をまとめる過程で新たな気づきがあった。学習者が話された断片を組み合わせると、その人の人生哲学や思い、精神の充実や生

学習日報（目標シート）の内容を見直し改め、目的を共有し日常のケアに活かしています！

きがいが浮かび上がってくるのです。

物語介護（日報を日常のケアに生かす）

学習者の話を聞いて、その意味を把握し、尊重し、その上で学習者の身になって行動するのです。

今後九州では、秋の育成士勉強会（追ってご案内）を始め、全県で、勉強会・交流会が行われます。すべての導入施設にご参加していただきたいと思います。

また、*福岡シンポジウム（5/11 於：コンベンションセンター）*映画試写会（12/12 於：西鉄ホール 共に追ってご案内）も含め、福岡学習療法研究会・ふくふく会では、何度も理事会が行われています。シンポジウムは、全国のシンポジウムです。近隣の中国・四国は勿論、全国の導入施設で盛り上がった状態で迎えたいと願います。どうぞ宜しくお願い致します。

次に熊本県全体の動きを紹介します。

熊本県全体のチャレンジ

熊本学習療法研究会がスタートし10ヶ月が経過いたしました。

昨年11月28日(水)熊本市アスパル富合にて、第一回熊本学習療法研究会が開催されました。

午前の部は、地域の方を対象とした講演会と、脳の健康教室・学習療法の実践報告、そして海外への広がりへの紹介。午後の部は、「実践テキスト(目標シート)の振り返り勉強会」で各施設からの実践事例発表、グループ討議が活発に行われました。その後ゆうとびあにて懇親会が行われました。のべ300名の参加となりました。



第一回熊本学習療法研究会での集合写真

今年7月30日、和水町の老健清風苑にて育成士PJが開催されました。

隈部会長を始め理事の皆様も必ず参加されます。これで育成士プロジェクトも第六回を数えます。当日は、大勢で意義ある情報交換会・交流会となり、また会場の清風苑さんは、日永さんの進行で若杉事務長の笑顔と法人紹介始め、施設見学、今村リーダーより学ぶ・・と有意義な一時でした。次回は人吉の愛生会で行われます。

また、同じ九州の他県のネットワークとの交流も盛んです(写真右)。



熊本学習療法研究会と大分学習療法研究会の交流会(6月吉日 於:方保田薫寄堂)